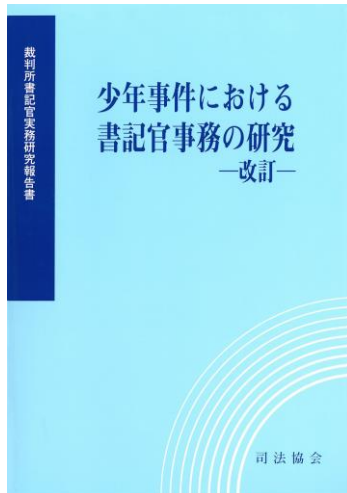


少年事件における書記官事務の研究—改訂—



監修 : 裁判所職員総合研修所
 定価 : 本体 4,286 円 + 税
 判型 : A4 判
 ページ数 : 530 ページ(本文 458 ページ)
 ISBN : 978-4-906929-03-0
 発行 : 平成 24 年 8 月

内容

本書は、平成7年度書記官実務研究報告書の「少年事件における書記官事務の研究」の改訂版として、平成22年度に発表されたものです。

少年法は、この間数次にわたり改正され、刑事適用年齢の見直しや国選付添人制度に関する定めや被害者への配慮制度等について新たな手続が定められ、これに携わる書記官の事務にも大きな変化がありました。

本研究報告書をまとめるにあたって、担当書記官の理解を容易にするために、各裁判所の事務処理方法等について照会を行い、その結果を基に、通知書、調書の記載、審判決定の主文等の参考例を312余り掲載し、実際の事件処理を行うのに有用な報告書となっています。家庭裁判所において、初めて少年事件を担当する裁判所書記官、事務官等のための手引書、基本書として、[少年法実務講義案](#)とともに欠くことのできない手引書となっています。

また、少年事件の実務に則した必携書となっているところから、検察、警察、矯正等関係各機関において、少年事件の実務を担当される方にとっても参考となる情報が豊富に盛り込まれています。

総目次

序 少年事件における書記官事務	第8節 事件確定後における競合する処分調整	第4編 一般事件及び交通関係事件を除く事件等
第1編 一般事件	第2章 簡易送致事件	第1章 準少年保護事件
第1章 一般事件(簡易送致事件を除く。)	第2編 被害者等への配慮制度	第2章 共助事件
第1節 事件の受付から記録の分配までの手続に関する事項	第1章 事件係属後の被害者配慮制度の案内	第3章 少年審判雑事件
第2節 記録分配後、調査官の調査結果の報告までの手続に関する事項	第2章 被害者等による記録の閲覧及び謄写	第5編 抗告に関する手続
第3節 事件の関係人に関する事項	第3章 被害者等の申出による意見の聴取	第1章 抗告の申立てに伴う手続
第4節 否認事件等の処理等に関する事項	第4章 被害者等による少年審判の傍聴	第2章 抗告受理の申立てに伴う手続
第5節 調査官の調査結果の報告後、終局決定審判までの手続に関する事項	第5章 被害者等に対する審判の状況の説明	第6編 その他の書記官事務
第6節 終局決定及びその執行等の手続	第6章 被害者等に対する審判結果等の通知	第1章 事件関係の書類の取扱い(受理から保存まで)
第7節 終局事件記録に関する訟廷事務(抗告事件を除く。)	第3編 交通関係事件	第2章 押収物の取扱い
	第1章 交通関係事件(反則金不納付事件を除く。)	第3章 記録の保管
	第2章 反則金不納付事件	第4章 記録等の保存廃棄
		第5章 記録の開示
		第6章 その他